

(注意事項)

「はじめ」と言われるまで、このページを開けてはいけません。

試験中は、試験監督の指示に従うこと。

不適切な行動と試験監督が判断した場合は、不正行為とみなします。

試験監督から、席の移動や持ち物の確認を求められた場合は、誠実に対応すること。

不誠実な対応と試験監督が判断した場合は、不正行為とみなします。

不正行為が認められた場合には、当該学生の受験を中止とします。

隣の人とは、できる限りの空席をあけ、また、前列の受験者のすぐ後に座りなさい。

試験中は、許可なく席を立ったり、移動することを禁止します。

解答用紙は、他の学生から見えないように配慮して、机の上におきなさい。

不自然な体勢、姿勢、しぐさをしないようにしなさい。

教科書、ノート、メモ類は、鞆の中に入れ、机の上には、筆記用具、時計、ティッシュ、

その他事前に認められたもの以外のものを置いてはいけません。

携帯電話の電源は切断しておきなさい。

開始後30分経過して、試験監督が退出可とするまでは、退室してはいけません。

これは、遅刻者の入室を許可するための特別な措置であり

従って、最初の退室者が出た後は、遅刻者の入室および当該試験の受験は認められま

問題用紙 (このページを含めて)

10 ページ (解答用と同じ)

別紙

1 ページ

Tutor評価用紙

1 ページ

(解答用紙から切り離して提出)

地雷: 基礎的な知識を問う問題で、無回答や誤った場合に、大きく減点される問題

禁忌: 患者にかえて危害を及ぼすような誤った選択の場合、大きく減点される問題

番号	氏名	点数
----	----	----

おしらせ

EBM論文検索実習は、次のユニット8「心臓」と、ユニット9 - 2「腎臓」でも行います。
各ユニットでそれぞれ1つだけ提出してください。

締め切りは、今回と同様、それぞれのユニット総括試験終了までです。

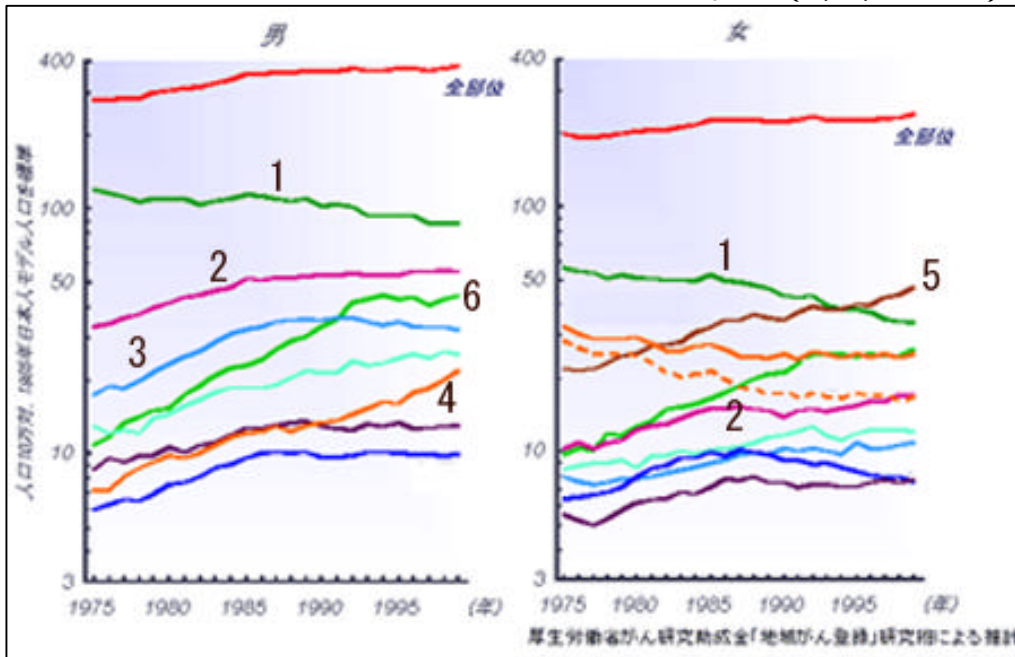
提出用紙は、Tutorial WEBに載せてあるので、各自ダウンロードしてください。

(ダウンロードできない場合は、教育センターまで来てください)

* 9月からのモジュール4では実施しません。

腫瘍について、以下の設問に答えなさい。

- 1 厚生労働省による日本人の人口10万人対がん罹患率(年齢調整後モデル人口)の変遷を示す。数字にあてはまるがんの名称を語群から選びなさい。(1, 4, 5は地雷)



- (1) ()
(2) ()
(3) ()
(4) ()
(5) ()
(6) ()

※男女のグラフ間で同じ色が同じ癌とは限りません。数字が同じものは、同じ癌です。

(1) 喉頭癌	(5) 前立腺癌	(9) 結腸癌
(2) 肺癌	(6) 食道癌	(10) 子宮頸癌
(3) 胃癌	(7) 乳癌	
(4) 膵臓癌	(8) 肝臓癌	

- 2 悪性腫瘍の遠隔転移の形式を3つあげ、それぞれ1つずつ例示しなさい。

(1) (例示)

(2) (例示)

地雷

(3) (例示)

- 3 以下の中で、肝臓に最も転移しやすい癌はどれか

()

- (1) 直腸癌 (2) 胆嚢癌
(3) 結腸癌 (4) 膵癌
(5) 胃癌 (6) 前立腺癌

- 4 次のうち、一般的に、悪性腫瘍細胞の特徴に○、違うものに×をつけなさい。

- (1) 核の大小不同 ()
(2) 核/細胞質比の低下 ()
(3) 巨細胞の形成 ()
(4) 核小体の消失 ()
(5) 核の濃染 ()

- 5 腫瘍マーカーと疾患の組み合わせで適切なものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- (1) AFP - 肝細胞癌 () (2) CA19-9 - 膵癌 ()
(3) PSA - 前立腺癌 () (4) CEA - 結腸癌 ()
(5) VMA, HVA - 神経膠腫 () (6) hCG - 子宮頸癌 ()

血液について、以下の設問に答えなさい。

1 ABO式血液型について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- (1) ABO式血液型に属する抗原は赤血球だけに存在している。 ()
- (2) H抗原に1,3ガラクトース転移酵素でガラクトースが添加されるとB抗原になる。 ()
- (3) ABO式血液型のオモテ試験では抗A血清を加えて凝集し、抗B血清を加えて凝集しない場合はA型である。 ()
- (4) ABO式血液型のウラ試験ではA型血球を加えても凝集せず、B型血球を加えると凝集する場合はA型である。 ()

2 以下は、健常人の末梢血の塗抹標本 (HE染色) に認められた白血球である。それぞれの名称を書きなさい。

(1)

(2)

(3)

地雷



()

()

()

()

3 白血球膜抗原CD番号について、その特徴を述べた文を下から選び、記号で答えなさい。

- (1) CD5 () (2) CD10 ()
- (3) CD20 () (4) CD30 ()
- (5) CD34 () (6) CD56 ()

- (1) 代表的B細胞マーカーのひとつであり、ほとんどの成熟B細胞リンパ腫で陽性となる。この抗体製剤のrituximabは、低悪性度B細胞リンパ腫の治療を大きく改善した。
- (2) 代表的なNK細胞マーカーで、別名をNCAM (neural cell adhesion molecule) という。
- (3) ホジキンリンパ腫に特徴的なReed-Sternberg細胞に陽性となることで知られる。
- (4) CALLAとも呼ばれ、一部の急性リンパ性白血病で陽性となる。さらに、濾胞性リンパ腫、バーキットリンパ腫で陽性となる。
- (5) 代表的な汎T細胞マーカーの一つであるだけでなく、一部のB細胞にも発現し、これを発現するB細胞腫瘍には慢性リンパ性白血病やマントラ細胞リンパ腫など初診時高率に白血化を認め、難治なものが多い。
- (6) 多能性の造血幹細胞は、この抗原陽性細胞群に含まれているとされ、造血幹細胞移植において活用されているほか、最近では、血管内皮細胞も同じ抗原を持つ幹細胞から分化していることが明らかとなっている。

4 血小板を凝集させるものに○、させないものに×をつけなさい。

- (1) トロンボキサンA2 () (2) ATP ()
- (3) エピネフリン () (4) トロンピン ()
- (5) プラスミン () (6) ADP ()

5 出血時間が延長するものに○、しないものに×をつけなさい。

- (1) 血小板数減少 () (2) 血小板機能障害 ()
- (3) ワーファリン服用中 () (4) vonWillebrand因子低下 ()

6 プロトロンビン時間が延長、活性化部分トロンボプラスチン時間が正常の場合、あてはまる凝固因子異常に○をつけなさい。

- (1) 第 因子欠損 () (2) プロトロンビン (因子) ()
- (3) 第 因子 () (4) 第 因子 ()

7 以下の文章を読んで、赤血球造血を制御するメカニズムについて、答えなさい。

「オリンピック選手の多くは、酸素運搬能を高めるため、生理的多血症に変化させることを目的に、高山トレーニングを行うことがある。これは、生体の赤血球造血のコントロールの指標として、ヘモグロビン濃度は無関係であるからである。」

では、生体の赤血球造血のコントロールの指標としては、体内でなにがモニタされているのか、単語で答えなさい。(我々が、病院でも計測できる指標で答えなさい)

赤血球造血のため、その指標のセンサーは、身体のどこにあるか、答えなさい。

そのセンサーの刺激により、骨髄からの成熟赤血球産生を促進するために分泌される物質名を答えなさい。(略語不可)

抗がん剤について答えなさい。

1 抗がん剤の薬理学的知識について、以下の設問に答えなさい。

以下にあげる抗がん剤を、下の語群にある4つの分類にわけ、記号を選びなさい。

- | | | | |
|--------------------------|-----|--------------------------|-----|
| (1) ドキソルビシン | () | (2) エトポシド | () |
| (3) パクリタキセル | () | (4) シクロホスファミド | () |
| (5) シスプラチン | () | (6) ビンクリスチン | () |
| (7) ビンブラスチン | () | (8) プレオマイシン | () |
| (9) メソトレキセート | () | (10) 5-FU (fluorouracil) | () |
| (11) ara-C (シトシン アラビノシド) | () | | |

分類	
(1)	アルキル化剤 -その関連薬
(2)	代謝拮抗薬
(3)	抗腫瘍性抗生物質
(4)	植物アルカロイド

例にならい、以下の抗がん剤の作用メカニズムを説明しなさい。

(例) エトポシドは、DNA topoisomerase IIの活性を阻害し、細胞分裂を阻害する。

(1) シスプラチン (カルボプラチン)

(2) シクロホスファミド

(3) ビンクリスチン

(4) メソトレキセート

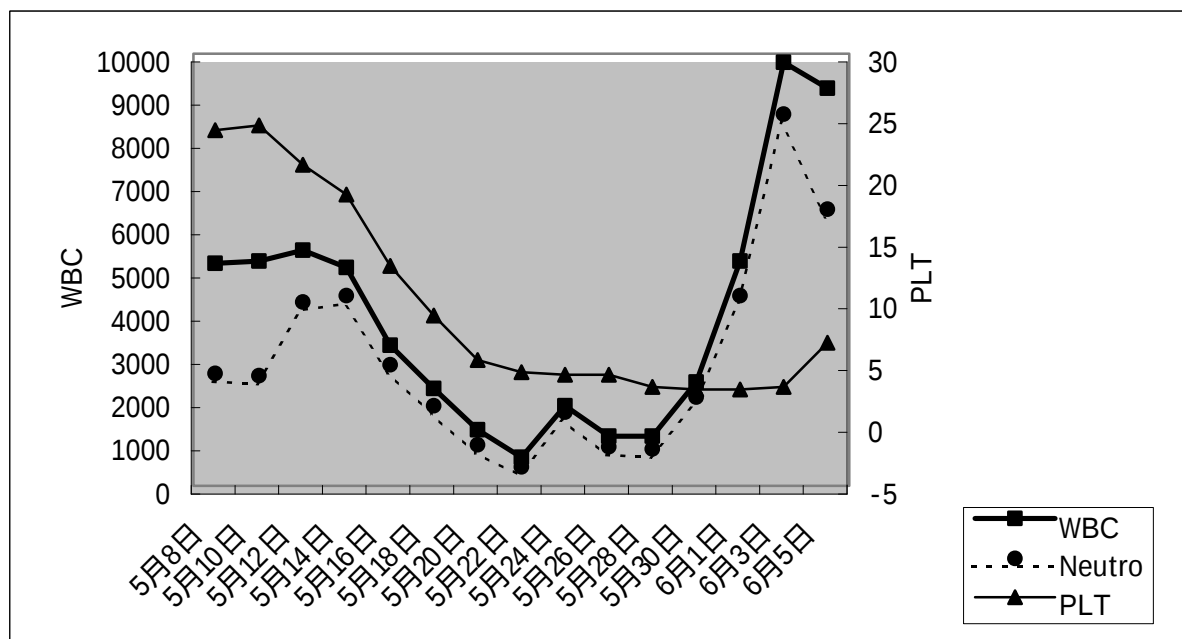
(5) パクリタキセル

抗がん剤の分類や作用メカニズムの違いの理解は、その薬理学的効果および副作用の軽減のために重要である。抗がん剤の中には、細胞周期の特定の時期にのみ、効果を発揮するものがある。このような抗がん剤の作用特性をなんと呼ぶか、答えなさい。

設問 の語群にある4つの抗がん剤の分類のうち、設問 の、特定の細胞周期に効果を発揮する抗がん剤にあてはまる分類を2つ選び、設問 の語群の記号で答え、それぞれの作用する細胞周期を書きなさい。

- | | 抗がん剤の分類 | 効果を発揮する細胞周期 (略称でも可) |
|-----|---------|---------------------|
| (1) | () | () |
| (2) | () | () |

- 2 以下のグラフは、ある悪性リンパ腫患者に対する化学療法 (CHOP) コースにおける末梢血の白血球数、好中球数と血小板数の経時的变化を2日ごとにグラフ化したものである。化学療法は、エンドキサン、アドリマイシン、オンコピンを、5月10日に一回投与、プレドニンは、5月10日から14日までの5日間投与で行われている。



化学療法開始後、末梢血の血小板数が、5月12日から急激に減少しているのはなぜか。

5月12日から14日にかけて、末梢血の好中球数が、血小板とは逆に増えているのはなぜか。

第13日目の5月22日には、白血球数660、好中球数440となったため、ある薬剤が5月22日から6月3日まで連日投与された。その薬剤名 (物質名) を述べなさい。

設問 番の回答の薬剤投与により、5月24日に好中球数の軽度の改善がみられたが、5月26日から28日にかけて、すぐに減少し、その後、5月30日から再び、急速に回復している。このような2峰性の変化を示すことや、設問 番の現象も含めて考えると、好中球の造血過程・体内分布について、どのような特徴があると考えられるか、解説しなさい。

肺癌について、以下の設問に答えなさい。

1 肺癌の遺伝子異常としてみられるものに○、みられないものに×をつけなさい。

- | | | | |
|-----------------|-----|--------------|-----|
| (1) K-rasの点突然変異 | () | (2) L-mycの増幅 | () |
| (3) EGFRの欠失 | () | (4) Rbの欠失 | () |
| (5) p53の欠失 | () | | |

2 肺癌発生の職業性要因であるものに○、考えにくいものに×をつけなさい。

- | | | | |
|-----------|-----|---------|-----|
| (1) アスベスト | () | (2) ラドン | () |
| (3) リン酸 | () | (4) クロム | () |
| (5) 砒素 | () | | |

3 肺癌の診断について、正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| (1) 末梢型肺癌は、検診などの胸部X線撮影によって発見されることが多い。 | () |
| (2) 中枢型肺癌は、自覚症状と喀痰細胞診によって発見されることが多い。 | () |
| (3) 中枢性肺癌の早期診断には、喀痰細胞診が有用である。 | () |
| (4) 末梢型肺癌の診断には、喀痰細胞診は無用である。 | () |
| (5) ヘリカルCTは末梢型早期肺癌の診断に有用である。 | () |

4 肺癌の4つの病理組織型をかき、喫煙との関係のあるもの、肺門部より肺野に見られるもの、化学療法が主のものに丸をつけなさい。

組織型名称	喫煙	肺野	化学療法
(1)			
(2)			
(3)			
(4)			

5 肺癌に関し、喀痰細胞診で、原則的に判断できないものはどれか、1つ選びなさい。

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| (1) 上皮化生 | (2) 上皮異形成 | (3) 病期 |
| (4) 組織型 | (5) 壊死 | () |

6 癌に対する放射線療法について、正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- | | |
|--|-----|
| (1) リニアックで発生させた電磁波を一般的に用いる。 | () |
| (2) 肺癌では、小細胞癌は非小細胞癌より、放射線感受性が低い。 | () |
| (3) 肺癌では、総量60Gy程度を一回照射線量 2Gy、30回に分割して照射する。 | () |
| (4) 肺癌への照射中では放射線性肺臓炎、照射後には肺線維症が問題となる。 | () |
| (5) 縦隔を含めて照射する場合には、食道や背髄への影響が問題となる。 | () |

7 肺癌根治手術の適応とならないものに×をつけなさい(適応に×の場合、減点となります)

- | | |
|---------------------|-----|
| (1) 同側縦隔リンパ節転移(+). | () |
| (2) 対側縦隔リンパ節転移(+). | () |
| (3) 同側鎖骨上リンパ節転移(+). | () |
| (4) 同側肺門部リンパ節転移(+). | () |
| (5) 肋骨への直接浸潤(+). | () |

8 肺癌の外科治療について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) 術後、胸腔ドレーンから排気を認めた場合は早期に再手術を考慮する。 | () |
| (2) 術側の肺を虚脱したままで手術すべきでない。 | () |
| (3) 肺切除後早期は咳そうを出来るだけさせないようにする。 | () |
| (4) 胸腔鏡で肺切除を施行した場合でも、胸腔ドレーン留置は必要である。 | () |
| (5) 一側肺が完全無期肺になっているときは、手術適応とならない。 | () |

9 喫煙者における肺癌発生を考える場合、喫煙指数が重要と考えられている。

喫煙指数とはなにか、説明しなさい。

設問に答えなさい。

1 以下の病態にあてはまる疾患を、下のA～Dの中からそれぞれ選びなさい。

- | | |
|---|-----|
| (1) 血管壁の脆弱化 | () |
| (2) 凝固因子の異常 | () |
| (3) GPIIb-IIIa (フィブリノゲンレセプター) の欠損 | () |
| (4) GPIb-IX-V (von Willebrand因子レセプター) の欠損 | () |

A Schonlein-Henoch紫斑病	B 血友病A
C Bernard-Soulier症候群	D 血小板無力症

2 急性白血病について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- | | |
|---|-----|
| (1) 表在リンパ節が腫脹することはない。 | () |
| (2) 息切れ、動悸を訴えることがある。 | () |
| (3) 発熱はすべて感染症の合併によるものである。 | () |
| (4) 末梢血の血小板数が減少している時は必ずDICの合併がある。 | () |
| (5) 末梢血の白血球数が正常値以下のことがある。 | () |
| (6) 骨髓で芽球比率が10%を少し超えたので急性白血病と診断した。 | () |
| (7) 白血病芽球がミエロペルオキシダーゼ染色陰性なので急性リンパ性白血病と診断した。 | () |
| (8) 急性骨髄性白血病でも、白血病細胞の表面マーカー検索でリンパ球系抗原を認めることがある。 | () |
| (9) 完全寛解に入れば、体内の白血病細胞は根絶されたと考えてよい。 | () |
| (10) 完全寛解に入れば、以後は無治療でよい。 | () |

3 悪性リンパ腫について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- | | |
|---|-----|
| (1) 悪性リンパ腫は、全身どの臓器からも発生し、その解剖学的部位に応じて特徴的な病態と治療反応性を示す。 | () |
| (2) 表面マーカー別に悪性リンパ腫をB細胞性、T細胞性、NK細胞性にわけると、B細胞性の頻度がもっとも高く、予後ももっともよい。 | () |
| (3) ホジキンリンパ腫は、わが国におけるその発生頻度は欧米に比べて低く、悪性リンパ腫の約30%を占めている。 | () |
| (4) ホジキンリンパ腫で特徴的なReed-Sternberg細胞の細胞起源は長らく不明であったが、大多数の症例でB細胞由来であることが近年確定した。 | () |
| (5) 病期分類のB症状とは、発熱、体重減少、皮疹である。 | () |
| (6) ホジキンリンパ腫に対する標準的化学療法はABVD療法である。 | () |

4 急性白血病に合併する感染症について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- | | |
|--|-----|
| (1) クリーンルーム収容中の寛解導入のための化学療法の途中、好中球 $100/\mu$ での高熱は、血液培養でほぼ起因菌の同定が可能である。 | () |
| (2) クリーンルーム収容中の寛解導入のための化学療法の途中、好中球 $100/\mu$ での高熱の原因は、多くが、室外からの病原細菌によるものである。 | () |
| (3) 化学療法後の好中球減少時に感染症を併発したのでまずは、第一世代のセフェム系抗生物質での治療を開始した。 | () |
| (4) 真菌感染症の診断には β -Dグルカンの測定が有用である。 | () |
| (5) 真菌感染症に対する抗菌剤は開発されていない。 | () |

5 輸血療法について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- | | |
|--|-----|
| (1) 失血による急性の貧血では、Hb 10g/dl より低下していれば、輸血を行うべきとされている。 | () |
| 禁忌 (2) 慢性貧血患者では、Hbが 7.0g/dl でも、緊急輸血が必要ではない場合がある。 | () |
| (3) 通常は、不足している成分を輸血する、成分輸血が勧められているが、手術中では、新鮮な生血の全血輸血が理想的とされている。 | () |
| (4) B型肝炎ウイルスの感染防止のために、放射線照射が行われている。 | () |
| (5) 輸血では、GVHDの発症はありえない。 | () |
| (6) B型肝炎ウイルスの感染防止策が徹底されているため、輸血によるHBV感染の危険はなくなると、製造物責任をもつ日本赤十字の保証がある。 | () |
| (7) 輸血の危険性を減少させるために、自己血を事前に採取・保存・輸血することが、実験的に研究されているが、現在のところ、臨床応用されていない。 | () |

6 造血幹細胞移植について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- (1) 造血幹細胞移植には自己の造血幹細胞を移植する自家造血幹細胞移植療法があり、固形腫瘍などの治療に広く応用されている。 ()
- (2) 他人の造血幹細胞を用いる同種幹細胞移植は、主に白血病、再生不良性貧血や先天性免疫不全症の治療に行われている。 ()
- (3) 造血幹細胞移植には、幹細胞の供給源により骨髄移植、末梢血幹細胞移植があるが、臍帯血移植は現在開発中でまだ実用化されていない。 ()
- (4) 前処置には全身照射(TBI)と大量化学療法を用いる骨髄破壊性幹細胞移植以外に、ミニ移植と呼ばれる免疫抑制を主体とした骨髄非破壊的前処置でドナー細胞を生着させる方法がある。 ()

7 造血幹細胞移植と組織適合抗原について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- (1) 組織適合抗原(HLA型)は第7染色体短腕に存在し、クラスⅠ座(A, B, C)とクラスⅡ座(DR, DP, DQ)があり、主に免疫系の抗原提示に関与している。 ()
- (2) 同種移植では組織適合抗原(HLA型)クラスⅠ、クラスⅡのすべての抗原が一致したドナーから行うことを原則とする。 ()
- (3) 兄弟姉妹間でHLA型が一致する確率は25%であり、非血縁者と一致する確率は数百分から数万分の1とされている。 ()
- (4) 造血幹細胞移植ではドナーとレシピエントのABO血液型も一致させる必要がある。 ()

8 GVHD (graft-versus-host disease; 移植片対宿主病)について、正しい記載に○、誤りに×をつけなさい。

- (1) GVHDはドナーリンパ球が直接的あるいはサイトカインを介してレシピエント臓器を傷害することである。 ()
- (2) 移植後1年以内に起こる急性GVHDと、数年経過した後に起こる慢性GVHDに分けられる。 ()
- (3) 急性GVHDの主な標的臓器は皮膚、腸管、肝臓である。 ()
- (4) 慢性GVHDは膠原病の症状に類似する。 ()
- (5) 軽症GVHDが起こった例では、GVHDが起こらなかった例よりも白血病再発が少ない。 ()

症例を読んで、設問に答えなさい。

1 62歳の男性。Ⅱ型糖尿病の既往があり、肺炎から敗血症に陥っている。5日前から、市民病院に転院して、すぐに集中治療室に入っている。転院後2日目から、出血症状がみられ、血小板数が2万 μ l台に低下している。末梢血の塗抹標本では、破碎赤血球を認めている。

この病態で、低下するものを1つ選びなさい。 ()

- (1) D-ダイマー
- (2) トロンビン・アンチトロンビン 複合体 (TAT)
- (3) FDP
- (4) アンチトロンビン (AT-)
- (5) プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC)

2 別紙図1に、ある患者の腸骨骨髄生検所見を示す。27歳 女性である。

この患者に予想される末梢血検査所見を下から選びなさい。 ()

- (1) WBC 24.6万/ μ l (5%Stab, 85%Seg, 2%Eosino, 5%Lymph, 3%Mono)
RBC 550万/ μ l, Hgb 12.2 g/dl, Hct 36.7%, platelet 75.4万/ μ l
- (2) WBC 4500/ μ l (12%Stab, 45%Seg, 3%Eosino, 32%Lymph, 8%Mono)
RBC 520万/ μ l, Hgb 9.8 g/dl, Hct 22.7%, platelet 35.4万/ μ l
- (3) WBC 1200/ μ l (0%Stab, 10%Seg, 3%Eosino, 75%Lymph, 11%Mono)
RBC 270万/ μ l, Hgb 6.1 g/dl, Hct 18.5%, platelet 0.4万/ μ l
- (4) WBC 7800/ μ l (12%Stab, 36%Seg, 3%Eosino, 38%Lymph, 11%Mono)
RBC 283万/ μ l, Hgb 6.3 g/dl, Hct 19.2%, platelet 28.4万/ μ l

- 3 27歳の女性、下腿の浮腫を主訴に来院した。
3日前に、海水浴に行ったところ、翌日から、38.6 の発熱および両頬部を中心とする紅斑がみられた。紅斑は、日焼けと放置したが軽快しない。両側膝関節痛は以前からあるが、全身の関節の痛みが出現してきた。2日前から、下腿浮腫が出現した。
頸部リンパ節の腫脹があり、聴診で心膜摩擦音を認める。23歳と24歳時に流産の既往あり。
検尿にて、潜血強陽性、尿蛋白強陽性。沈査で、顆粒円柱、赤血球円柱、白血球円柱を認める。
末梢血 赤血球数350万、Hb 10.3g/dl、白血球数4200。
血清生化学検査 尿素窒素44mg/dl、クレアチニン2.9mg/dl、補体CH50 20以下 (正常50～80)
血清免疫複合体陽性。

この患者に認められる可能性があるものに○をいれなさい(誤りに○の場合、減点)

- | | | | |
|----------------|-----|------------|-----|
| (1) 急速進行性糸球体腎炎 | () | (2) 動脈血栓症 | () |
| (3) 口腔内潰瘍 | () | (4) 血小板減少症 | () |
| (5) 脳梗塞 | () | (6) 関節の変形 | () |
| (7) 血栓性静脈炎 | () | | |

膠原病を疑い、自己抗体を検査することになった。この患者で陽性になると考えられるものに○、陰性とかんがえられるものに×をいれなさい。

- | | | | |
|---------------|-----|---------------|-----|
| (1) 抗Sm抗体 | () | (2) 抗ds-DNA抗体 | () |
| (3) 抗ss-DNA抗体 | () | (4) 抗DNP抗体 | () |
| (5) 抗RNP抗体 | () | (6) 抗SS-B抗体 | () |
| (7) 抗Scl-70抗体 | () | | |

上記の自己抗体の中で、陽性となるのが、この疾患に特徴的(特異的)とされるものを2つ選びなさい。(3つ以上の回答は地雷となります)

この疾患の患者にみられる凝固 線溶異常は、どのようなメカニズムによると考えられているのか、あなたが知っていることを説明しなさい。

- 4 56歳 男性。特に症状はなく、会社の健康診断で受けた胸部X線検査で異常を指摘されて来院。身体診察にも特に異常が認められない。喫煙は、1日20本程度を36年間。
別紙図2に、患者が持参した胸部X線写真を提示する。

鑑別診断をしなさい。

(考える疾患を列挙し、説明しなさい)

喀痰がないので、細胞診は実施されず、CTガイド下肺生検術が実施された。
この患者のものと思われる病理生検写真は、別紙図 3と図 4のどちらか、
適切と思われるほうを選び、また、病理組織診断名を答えなさい。

図番号 () 病理組織診断名 ()

この患者の血清アルカリフォスファターゼが上昇していた。どのようなことを考えるべきか。

- 5 24歳の男性、近医で白血球増加を指摘され、精査のため来院した。
紹介状には、以下の検査結果が同封されていた。
白血球数 15600/ μ l (好中球88%) 赤血球数 562万/ μ l, Hb 15.4g/dL, Ht 55.2%,
血小板数 13万5,000/ μ l 塗沫標本は、別紙図 5。
外来で、胸骨から骨髓穿刺を行った。別紙図 6に、その塗沫標本を示す。

(末梢血 HE染色 $\times 100$)

(骨髓液 HE染色 $\times 200$)

この患者の骨髓所見を説明しなさい。

考えられる病態をできるだけあげなさい (鑑別診断)。

別紙 図 1

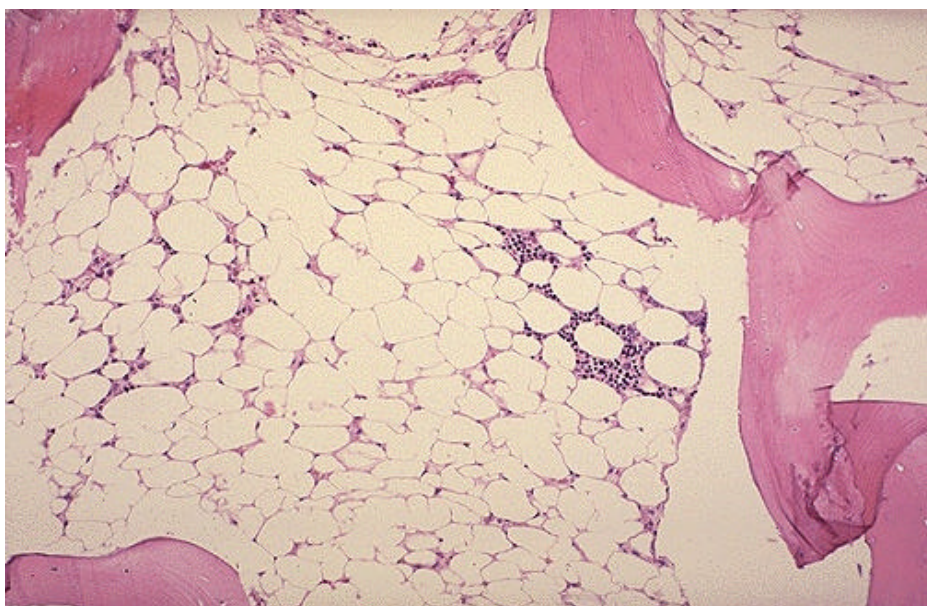


図 2



図 3

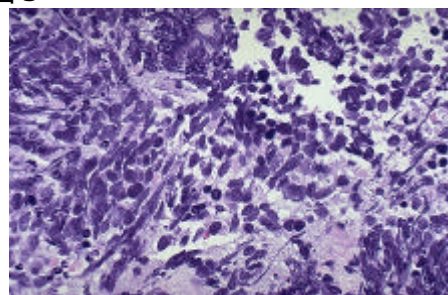


図 4

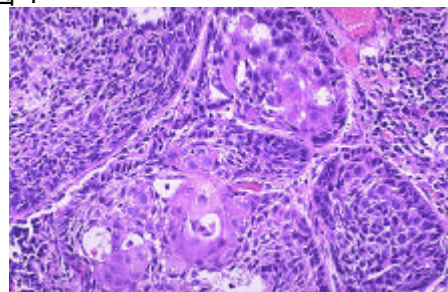


図 5

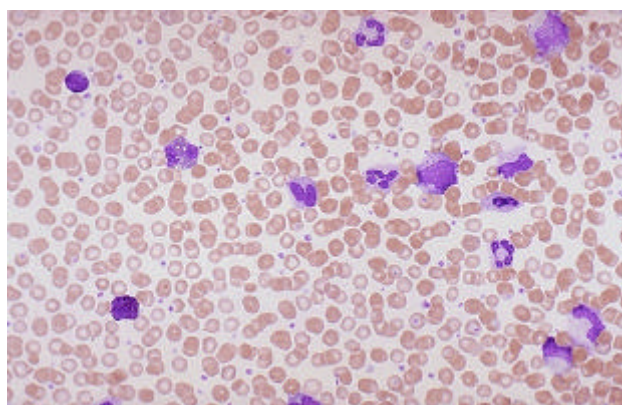


図 6

